

仕事と家庭の両立

追本 歩

第二看護学科 37 回生

富山県立総合衛生学院第二看護学科最後の学院生として卒業し、もうすぐ6年が経過します。看護学生の頃は、日勤を終えてから暗くなる時間帯に登校し、睡魔と闘いながら授業を受けていた事を思い出します。看護学生時代の思い出として強く心に残っている事は、母性看護の臨床実習期間中に長男が生まれた事です。実習で学んだことをすぐに私生活へ活かすことができ、とても良い体験学習になりました。看護師国家試験勉強と子育ての両立はとても大変でしたが、その頃の私を支えてくださった諸先生方と友人・家族には今でも感謝しています。

現在は、かみいち総合病院に勤務して6年目、手術室に配属となって1年が経過しました。今は看護学生の実習指導も行っている為、学生時代お世話になった臨床指導者の方々の苦勞が今になって分かるようになりました。

手術室では患者さんの入室から退室まで、安全で安心できるスムーズな手術が行われるよう医師と看護師が一つのチームとなって手術に取り組んでいます。手術室看護師として必要な知識は多種多様であり、これからも自己研鑽に取り組み一人前の手術室看護師となるよう努力していきたいです。

現在勤務している病院は、更に働きやすい職場環境を目指し、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいます。自身もワーク・ライフ・バランスを意識し、今後も仕事と子育ての両立を図っていきたいと考えています。

手術室看護師としてまだまだ未熟ですが、富山県立総合衛生学院第二看護学科の卒業生としての誇りを持ち、社会に貢献できる看護師となっていきたいです。